

【事業者名称】グループホーム「はあとふるマキノ」

21年4月20日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	めずらしいことや新しいことを行うのではなく、自然の流れに添っての取り組みを行っている。	○	理念の「みんなと共に」の意味から、ボランティアさんと交流したり、「こらぼらハウス」に行き地域の方との交流をしている。
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	本人の生活歴を大切に考え、「自分らしく」を生かそうとしている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	社協の広報などにも掲載したり、地域のサロンなどにもでかけるようにしている。		
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近くのマーケットをよく利用するように、心がけたり、集落の方が来やすい雰囲気を作る様にしている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の祭りに参加したり、地域の行事にも参加している。	○	高齢化と共に地域の行事などの参加が難しくなる中、交流方法の再考が必要。
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	サロン等に出かけホームの現状を伝える中で認知症ケアや、地域のあり方の大切さを伝えるようにしている。		
地域とのつきあい 3項目中 3項目					
ho-mu					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行い、質の向上と共に自己研修の基としている。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自分達では気が付きにくい所を、外部の人の意見を聞くようにしている。	○	違う視点からの意見を大切に、地域で暮らすことの利点をケアにとり入れていきたい。
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市職員が訪れることも多く、意見を交わすことも多い。	○	一方的な報告で終わるのではなく、互いに理念に向かって協力し合える体制をとっていきたい。
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者の家族には伝えてあるが、現在の利用者に該当者はいない。	○	介護者の状況も変わるので、制度の理解に努めていきたい。
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内では声かけや行動制限などにも気をつけている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な説明で納得してもらっていると共に、契約前の見学体験には十分に時間をかけるようにしている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談員の受け入れや相談窓口を設けている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月始めにホーム便りの他に金銭についての報告(内容や領収書)をしている。又こづかいはずかい帳への記入の確認や預けたとのサインなど配慮している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪された方には気軽に意見を聞きだせる雰囲気づくりをしている。町内在住の家族に関しては月1回訪問している。	○	家族の会を開いて家族の視点を大切にしていきたい。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2～3回のミーティングをして意見を出し合っている。	○	日々の業務の中で運営に関する意見提案は出にくいのが、職員の思いを大切に uptake していきたい。
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務時間の調整によってひとり対応の時間が減った。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最小限の異動になるように、組織(社協)として配慮が行われている。	○	職員とのなじみの関係を大切にす一方、認知症デイサービス職員とも交流をするようにしている。
理念を実践するための体制 7項目中 7 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社協の内部研修と外部での研修が、計画的に受講できるようにしていると共に研修の報告は全員が学べるようにしている。	○	知識のための研修でなく、介護職員としてのレベルアップを目指す研修を計画をしている。
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている		○	市内のグループホームとの交流や見学を行い、質の向上に努めたい。
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員同士が勤務終了後もゆっくりできる雰囲気を心がけている。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得に向けて支援している。	○	各自が自分で責任の持てる仕事を行い、評価することで本人の充実感へとつないでいきたい。資格取得に向けて支援している。
人材の育成と支援 4項目中 3 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	在宅サービスの利用時に、意識的にショートを利用するなどを行い、利用に対してスムーズに入れるようにしている。	○	本人の訴えや不安と家族の思いがずれている。…と感ずることがある。家族をも含めた本人との関係づくりに努めていきたい。
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	在宅での様子については、家族やケアマネに聞くと共に本人の思いを受け止めるように努めている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当者会議では、本人にとってより良いサービス支援について、ホームでの様子を伝えるようにしている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ショート利用や、事前に見学に来るなどしていただいている。また初回のショートは1泊にするなど工夫している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4 項目					
<b>II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	言葉掛け等常に人生の先輩としての尊敬の念を持ち接していく考えである。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	通院時には、家族の方と共に受診をお願いしている。ボランティアとして施設に訪問していただいている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	互いの気持ちの架け橋となれるように家族の来訪時には本人の気持ちを伝えるなど心がけている。家族と一緒に過ごす機会を作る。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	友達や近所だった人が来られるように働きかけている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	支え合っているのを見守ると共に一方的に負担とならないようにも心がけている。	○	利用者同士の関係についてはミーティングなどで職員の思いや情報のやりとりをし細心の配慮をしていきたい。
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ADLの低下からショート利用が終了してもデイの利用時には声をかけるなど行っている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の希望をかなえるのは、むずかしいが少しでもその意向にそって生活全体を支える努力をしている。	○	一人一人の意向を確認しながら、馴染みの場所への外出を計画している。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族近隣者の訪問時には意識して聞くようにして、以後のサービス内容に取り入れられている。	○	今までの生活歴からその人の生き方を理解してその人となりの価値感を見出せるように努めたい。
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	「一人一人が違っている」ということを、基本的に持って本人の全体像を把握するようにしている。	○	食事の時間や就寝の時間などは、日によって本人の動きに合わせている。
一人ひとりの把握 3項目中 3 項目					
<b>Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全体の意見を参考にして作成しているが、本人の意見が充分反映できていない。理学療法士や他機関の意見を聞き、計画に反映できるようにしている。	○	どうしても介護中心になるので生活を考えたプランが作成できるようにしていきたい。
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しをしている。また、ミーティング時に課題となることをスタッフ全員で話し、見直すようにしている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録から情報の共有をしている。結果、計画の見直しにも役立てている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3 項目					
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者が体調を崩した時等家族に居室に泊まってもらったりしている。また、本人、家族の状況に合わせて通院の支援を行っている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員と畑作業やボランティアとカラオケや手芸作業、園芸鑑賞を楽しんでいる。	○	より多くのボランティアに来てもらい交流する。(利用者が喫茶店に行くときのボランティアも来てもらっている。
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣のデイサービスに部分的に参加したり、ボランティアの見守り支援の中で近隣の交流の場に居ることもある。	○	認知症デイサービスと定期的に活動する。
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	本人の状況に応じてサービス担当者会議へ出席してもらい相談している。
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	マキノ病院がかかりつけ医となっている。医療連携体制からも適切に対応されている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	受診については、家族と共に職員も医療機関に相談するなど行っている。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携の体制をとっている為、健康管理や日々の相談にも対応してもらっている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院のあとも、支援については連携がとれている。病院側も退院後については訪問看護を通じて継続的に協力してもらっている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している		○	重度化はさげられないことと認識して、積極的に取り組み本人にとってのデメリットをさけるようにしていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	まだ充分とはいえないが、準備を行って行く中で確かなものとしていきたい。	○	重度化している傾向があるので、医療との連携をより深くしていきたい。
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事前に見学に行く等行っている。		
地域資源との協働 10項目中 7 項目					




自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	人生の先輩として敬い、教えを乞う態度で接し、個人情報に関しては、職員全員慎重な取り扱いを実践している。	○	利用者にいつも安心して頂ける様な言葉かけを職員同志で話している。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	目線を同じくして、ゆったりとゆっくり問いかけ話を聞いている。	○	利用者の心の思いや意志をもっと分かってあげられる様さらに接して行きたい。
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の利用者の体調を把握し、自ら声かけして利用者の声を聞いて希望に沿える支援をしている。	○	自分の意志を伝えられない利用者にはもっと分かってあげられる様コミュニケーションのとり方を考えていきたい。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容については来ていただいているが、自分で着る服は選んでいただけるよう支援している。	○	入居者一人一人の希望にあわせて支援できていないので、希望があれば馴染みの店を利用するように支援して行きたい。
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の出来る事柄を考慮し、調理、食事、片付け迄を楽しんでいただける様サポートしている。	○	キッチンに大きなテーブルを設置して誰もが調理、盛り付け等出来るよう配置している。
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	雑談の中で、利用者の嗜好を聞き取り出来るだけ沿える様支援している。また、煙草等も拒否するのではなく場所を提供している。	○	煙草の好きな人や、お酒の飲める利用者もいらつやるので、希望を受け入れたい。
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	全員がトイレでの排泄が継続できる目標を持ち支援している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日、時間は設定であるが、ゆっくりの人や早くできる人等個々の思いを取り入れている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	何時でも居間で過ごしていただける様に開放しており、座椅子の設置、ホームコタツで横になっても仮眠枕や座布団がすぐ使用出来る様に配置している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	回想法を通して、昔の出来事を語る喜びを共有して、誕生日会や四季折々の催しを手作りで開催している。	○	個人個人の利用者の希望を受け入れ個人対応していきたい。又、思いを伝えられない利用者の声にも心を汲み取りたい。
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	パン屋さんに来てもらい自分で選んで「いくらや？」などお金を使えることを実感できるように支援している。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	遠くでは四季折々のドライブ、近くでは畑へと利用者の希望と体調に合わせて支援している。	○	在宅で生活している感覚で、買物したり、喫茶店へ出かける機会を増やしていきたい。
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	長い距離の歩行が可能な方は、近くのマーケットへ行ったりしている。	○	ADLの低下と共に外出が難しくなってきたりの方の支援も考えたい。
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	年賀状のやり取りや、利用者が望む時には電話していただける様支援している。	○	利用者の残存能力を活かしてもっと手紙や電話を活用したい。
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者には気軽に訪問できる雰囲気で見守っている。又利用者の近況をお伝えしている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングを通して拘束に関しては常に意識づけをしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員がさりげなく注意し利用者には自由に行動できるようにしている。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の動きを目線に入れて所在と安全を確認している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の能力に合わせて支援している。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティング等を通して日々変わる利用者の身体能力に合わせて支援している。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	施設として定期的に全職員で訓練している。また、緊急用の連絡先を分かりやすく掲示しています。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設として定期的に全職員で訓練している。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族の方とリスクについて話し合い、注意すべき点を留意して生活しています。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを中心に顔色、動きなどを見逃さず異変時には訪問看護師へ相談したりマキノ病院へ受診等の対応をしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬の目的を把握しており、変化については申し送りを徹底している。と共に服薬ファイルからいつでも確認できる。毎日の服薬には過ちが無いよう名前を記入している。	○	副作用等については主訴が少ない為本人の服用後の状況の確認を意識していく。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘気味の利用者さんには、便秘に良いと思う食物や飲み物をとりいれ、便通を良くする運動も心がけてスムーズな排便が出来るように努めています。	○	各個人の便秘に効く食べ物を見つけるようにしてしている。
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	昼、夕食時の口腔ケアと就寝前には入れ歯を取り外し、入れ歯洗浄を実施して口腔内の清潔保持に努めています。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その時の状態や日々の食べる量を把握し食事を提供している。箸や食器は滑りにくいものを使用するなど個人の能力に応じた支援をしている。	○	食べる量に合わせて食器なども考え、一人一人の摂取量への支援を行っている。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は全員受け予防に努めている。嘔吐物や便を素手で触らないことや手洗い、消毒を常に行い、感染予防に努めている。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ふきんや台所用品は常に消毒し清潔を保っている。	○	過剰買いを控えて献立に沿った食材購入をし、安全管理に努めている。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者で造った手作りプレートを飾り観葉植物や四季の植木鉢を置きやすさを提供している。努力して作った作品を来訪者に見ていただけるように展示している。	○	四季の花をかざり季節感を出していくようにする。
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁面を利用して様々なイベント模様の写真や利用者の手作り作品を飾り楽しみと話題を提供している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2ヶ所にホームコタツ設置し、椅子に手作り座布団を敷きどこでもくつろげる工夫をしている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	懐かしい写真や諸行事の写真を飾ったり、手づくり品を置いている。又飾りきれない写真はアルバムに整理していつでも手にとれる様にしている。	○	洋室の部屋にはミニテーブルセットを設置してみれば、家族の方もより一層寛げるのでは・・・と考えている。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気との温度差がある時は、温度計と利用者の様子をみながら調整している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビング以外にも仏間にホームコタツを設置し、自由に寛いで頂いている。又玄関先にも手作り座布団を敷いてあり休息に役立っている。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	夜間はトイレのドアを開けておき、視覚からすんなりとトイレに入れるように工夫している。	○	ショートステイ用の部屋の扉に、その都度利用者の名前を書いた紙を貼り、迷い無く部屋に入れるようにしている。
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	食堂の大きなガラス戸の前を四季折々の花や菜園で楽しみ除草も運動を兼ねて健康のため取り組んでいる。	○	中庭に出ておやつを食べたり、木陰で農作業(お茶の葉の選別等)をするなど活用している。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3 項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
項目		14 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

いっぱい笑って、いっぱい話して利用者の方も職員も地域の中で一緒に生活していきたい。日常生活を営む上で出来ないことは増えてきたけれど、自分で出来る事の達成感や自信を分かち合えるように生活全般の支援を行っていきたい。

# 評価結果整理表

## 個別表

□のチェック項目数

### I 理念に基づく運営

－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	3 項目/4項目

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2 項目/10項目

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### IV－1. その人らしい暮らしの支援

－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目

#### IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目



## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 5項目/5項目)について

自然という概念は、朝日の中で目覚める。雨には雨の生活、冬には冬の生活など、今まで生きてきた中での工夫や創意などを十分に活かせるように支援していく。その生活の中で本人の思いを大切に自分らしくということを常に考えていく。又地域、家族等の支援も充実するように職員として自覚しなければならない。

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 2項目/2項目)について

安心や信頼については大丈夫であろうと自負しているところもあるが、どうしても立場が上下関係となりやすいところもある為、本人、家族、職員が同一点での支え合いになるように留意しなければならない。

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 4項目/4項目)について

認知度の変化や高齢による身体機能の変化により現れてくる事柄について、本人にとって満足な生活か？を考えながら計画、実践、評価と行っていきたい。一人一人の希望をかなえるのは難しいが少しでもその意向に沿って生活全体を支える努力をしている。

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 7項目/7項目)について

利用者の本当の思いを感じとることは難しい。でも、「今の暮らしはどうだろう・・・」と自分自身をその立場において考えるようにすると共に「できない・・・」ではなく、「どうすればできるだろう」と考え、日々の支援につないでいきたい。

### V サービスの成果に関する項目について

高齢になると共に、身体的に直接介護の場面も多くなり本人も無力感を持ってしまいが、精神面での思いや「自分らしさ」への思いはおとろえていないと思われる。「自分らしく生きたい」という可能性を信じながら利用者の思いを大切にす支援を続けていきたい。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム はあとふるマキノ

評価年月日:21年 4月 20日

前回評価年月日:21年 1月 25日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間(○年○月～○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価 21年	次期評価実施時期
評価項目番号	優先順位	内容				
15	1	家族がホームのの運営に参画できるようにする。	21年4月～21年9月まで	家族の会を作り、意見交換が出来る雰囲気を作る。		
20	2	市内にも他のホームができつつある同業者と交流する機会をもつようにする。	21年4月～21年9月まで	当ホームから他ホームに働きかけ統一のテーマで研修会を行う。など交流の一步を始めたい。		
62	3	普段行けない場所への外出支援。高齢化と共にADLの低下から外出そのものが難しくなっている。	21年4月～21年10月まで	自宅へ帰ったり、近所の友人宅を訪ねるなど、家族や親戚などの協力をたのむ。		
70	4	急変や事故発生時の備え。高齢化と共に転倒や急な発熱など、よく起こりうる事柄について検討する。	21年3月～21年6月まで	職員で研修すると共に医師や看護師の助言を求め作成する。		